

## 令和7（2025）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

### エッチュウバイ日本海中・西部

|      |                      |       |   |
|------|----------------------|-------|---|
| 対象水域 | 日本海中・西部<br>(石川県～島根県) | 参画機関名 | 水産研究・教育機構 水産資源研究所<br>底魚資源部、石川県水産総合センター、<br>福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、<br>島根県水産技術センター |
|------|----------------------|-------|---|

- ・ 令和4年度資源評価調査報告書を公表済み（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report\\_2022\\_215.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_215.pdf)）、次回令和8年度を予定

#### (1) 調査の概要

- ・ 機構は分布・資源量調査（トロール）および漁獲情報とりまとめを実施
- ・ 各府県は漁獲情報収集調査を実施
- ・ 鳥取県は上記に加え分布・資源量調査（トロール）を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

#### (2) データ収集状況

- ・ 石川県では主要10港における2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 福井県では2021年以降の月別漁獲量（エゾボラモドキとの混合）を収集済み
- ・ 京都府では2011年以降の月別漁法別漁獲量（エゾボラモドキ等を含む）を収集済み
- ・ 兵庫県では1974年以降の沖底による漁獲量を集計済み
- ・ 鳥取県では2011年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み、2020年以降のトロール調査データを整理中
- ・ 島根県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 機構は分布・資源量調査（トロール）の経年データを整理中

#### (3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和4年度資源評価調査報告書を参照（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report\\_2022\\_215.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_215.pdf)）
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・島根県などの専獲するバイかご漁業が盛んな県を除き、漁獲量データにはエゾボラモドキやツバイ等が含まれている場合が多い
- ・上記の理由により、水域全体の正確な漁獲量把握は困難